

目次

[概要](#)
[前提条件](#)
[使用するコンポーネント](#)
[表記法](#)
[背景説明](#)
[関連情報](#)

概要

Cisco Unified Call Studio, Universal Edition を使用すると、言語およびエンコーディングのデフォルトリストが使用できるようになり、このリストをプロジェクトプリファレンスを使用して設定できます。このドキュメントでは、その手順について説明します。

前提条件

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco Unified Call Studio に、ユニバーサル版に基づいています。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

症状： N/A

解決策： Cisco Unified Call Studio では、ユニバーサル版はメニューから、> **ユーザー設定** 『Window』を選択します。ユーザー設定ダイアログで、**Audium** > **プロジェクト**を選択して下さい。これはデフォルトの言語およびエンコードリストを表示する。

言語リストは各音声アプリケーションの全般設定の言語ドロップダウンリストを読み込むのに使用する言語のデフォルトリストが含まれています。全般設定で規定される言語は XML で使用されます: 各 VoiceXML 資料の lang アトリビュート。言語を、たとえば規定するために、XML で必要な形式にこの値が EN 米国合致する必要があります。

エンコードリストは全般設定のエンコードドロップダウンリストを読み込むのに使用するエンコードのデフォルトリストが含まれています。全般設定で規定されるエンコードは VoiceXML 文書を作成するとき使用されます。

注この値は UTF-8 有効な Sun Java 1.4.2 符号化フォーマット、たとえばである、必要があります; 詳細については Sun Java ドキュメントを参照して下さい。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)